

■土井晩翠 漢詩人・英文学者。若い時の詩「荒城の月」が滝廉太郎作曲の名曲となって、その名が永遠のものとなった。

どいばんすい

廃藩置県・・・1871＝ 仙台城下で、富裕な質商の旧家土井林七の長男に生まれる。母はあい。本名林吉。

明治6年政変 1873＝ 2歳：

・・・1880＝ 9歳：

明治14年政変 1881＝ 10歳：

秩父事件・・・1884＝ 13歳：小学校を卒業。家業に従事。

国民之友始・1887＝ 16歳：斎藤秀三郎主宰の仙台英学塾に通学。

初の対等条約 1888＝ 17歳：第二高等中学校の補充科2年に編入学，

帝国憲法発布 1889＝ 18歳：

郡司千島探検 1893＝ 22歳： 校友会誌{尚志会雑誌}に、晩翠と号して、長詩「謫居」、「行雲流水」を発表。

日清戦争始・1894＝ 23歳：卒業し、_東京帝大文科大学英文学科に進学。雑誌{帝国文学}の編集委員となり、

日清戦争終・1895＝ 24歳： *「紅葉青山水急流」「枯柳」を発表して、詩人デビュー。

八幡製鉄始・1897＝ 26歳：卒業し、東京の郁文館中学に就職。

子規句歌革新 1898＝ 27歳：

Bushidou・・・1899＝ 28歳：東京音楽学校生林八枝と結婚。*第1詩集「天地有情」を刊行し、叙事詩「星落秋風五丈原」など好評。なかでも「荒城の月」は、2年後滝廉太郎作曲で文部省選定「中学唱歌」に収められ、その名は不朽のものとなる。

ビア/国産化・1900＝ 29歳：第二高等学校の教授となり、帰郷。

田中正造直訴 1901＝ 30歳：第2詩集「曉鐘」。欧州遊学に出、

日露戦争始・1904＝ 33歳：帰国。

日露戦争終・1905＝ 34歳：第二高等学校教授に復職し、同校校歌を作詞。

満鉄発足・・・1906＝ 35歳：外遊の産物第3詩集「東海遊子吟」などで、_東西文化の融合を歌い続けるが、

韓国反日暴動 1907＝ 36歳：

明治天皇没・1912＝ 41歳：

民本主義・・・1916＝ 45歳：

ハルビン条約・1919＝ 48歳：第4詩集「曙光」刊行、「晩翠詩集」が刊行されるものの、

大暴落・・・1920＝ 49歳：第5詩集「天馬の道」刊行。_詩風に発展なく、詩壇の主流から離れる。

原敬首相暗殺 1921＝ 50歳：

関東大震災・1923＝ 52歳：パイロン作「チャイルド・ハロルドの巡礼」刊行。

治安維持法・1925＝ 54歳：

満州事変・・・1931＝ 60歳：

五一五事件・1932＝ 61歳：第6詩集「アジアに叫ぶ」刊行。

帝人疑獄事件 1934＝ 63歳：第二高等学校教授を定年退職。随筆集「雨降る日は天気が悪い」を刊行し、その序文で、「つちい」と読まれていた姓を"どい"と改称すると記す。

日中戦争始・1937＝ 66歳：第7詩集「神風」刊行。
_晩年は学究として業績を上げ、

大政翼賛会・1940＝ 69歳： *ギリシャ語原典からの翻訳「イーリアス」と、

日米開戦・・・1941＝ 70歳：

・・・1942＝ 71歳：

創価学会検挙 1943＝ 72歳： *「オヂュッセア」は高く評価される。
子に次々と先立たれたことで心霊学にも関心を示すようになり、

敗戦・・・1945＝ 74歳：

新憲法公布・1946＝ 75歳：財団法人日本心霊科学協会の設立に顧問として関わっている。

新憲法施行・1947＝ 76歳：芸術院会員。

極東裁判決・1948＝ 77歳：妻が死去、孫を除く家族全員を失うに至る。

三大事件・・・1949＝ 78歳：仙台市名誉市民。

朝鮮戦争始・1950＝ 79歳：_文化勲章。

独立回復・・・1951＝ 80歳：

メーデー事件・1952＝ 81歳：_仙台城址に「荒城の月」詩碑が建立されてまもなく、没した。

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、インターネット、